

CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきます
ようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ(<http://citizen.jp/>)でも操作説明がご覧いただけます。

また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載さ
れているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様
にご覧いただけます。

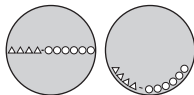
機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む 4 ケタと 6
ケタ以上からなる番号が刻印されています。（右図）
この番号を「側番号」といいます。

側番号の先頭の 4 ケタが機種番号になります。

右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例






時計によって表示位置は
異なります。

安全にお使いいただくために（必ずお読みください）



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

絵表示の意味をよく理解してから 68 ページ～ 77 ページを必ずお読みください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が高い」 内容です。
 警告	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」 内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

ご使用になる前に

時計をご使用になる前に、必ず以下の3つのことを行ってください。

◆ **現在の充電量を確認する→ 17 ページ**

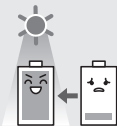
現在の充電量が十分か確かめます。

◆ **ワールドタイムを設定する→ 21 ページ**

時刻・日付を表示したい都市を選びます。

◆ **衛星からの電波を受信する→ 28 ページ**

衛星からの電波を受信して、正確な時刻に合わせます。



この時計は、文字板に光を当てて充電します。

時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。

充電については 12 ～ 19 ページをご覧ください。

◆ 保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

◆ バンド調整について





お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

◆ 特殊な構造のりゅうず / ボタンについて

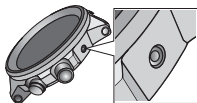
モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタンの使い方

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出す まで、左に回す	 りゅうずを押し込 みながら右に回し、 しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、 止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、 しっかり締める

隠しボタンの使い方



ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

もくじ

この時計の特長.....	10
各部の名称.....	11
充電について.....	12
ワールドタイムの使いかた.....	20
サマータイムと標準時刻を切り替える.....	25
衛星電波を受信する前に.....	28
受信 OFF について	34
衛星からの電波を受信する.....	35
うるう秒を確認・修正する.....	43
ロールオーバー数を確認・修正する.....	46
時刻 / カレンダーを手動で合わせる.....	50

基準位置を確認・修正する	56
困ったときは	60
エコ・ドライブ取り扱い上の注意	68
防水性能について	70
お取り扱いにあたって	72
その他の情報	78
保証とアフターサービスについて	80
製品仕様	82
お問い合わせ窓口	84

この時計の特長

衛星電波時計

衛星が送信する時刻情報を受信して、正確な時刻・カレンダーに修正します。

* 位置情報は取得しません。



エコ・ドライブ

光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。



Perfex (パーフェックス)

衝撃や磁気による針のずれを防ぎ、正確な時刻表示を保ちます。



パーペチュアルカレンダー

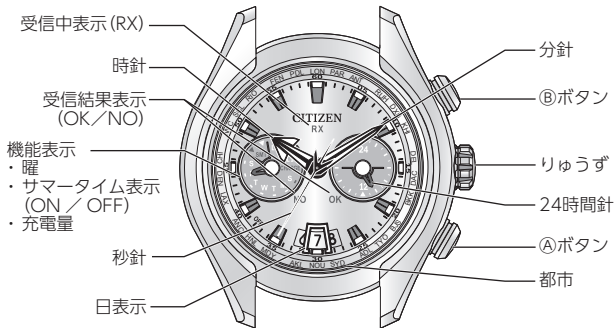
月末にカレンダーを自分で修正する必要はありません。
うるう年も自動で更新します。

ワールドタイム

都市を設定するだけで、世界各地の時刻を簡単に表示できます。

・「エコ・ドライブ」「Perfex (パーフェックス)」は、シチズン独自の技術です。

各部の名称



- ・お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。
- ・文字板の下面にソーラーセルが配置されています。

充電について

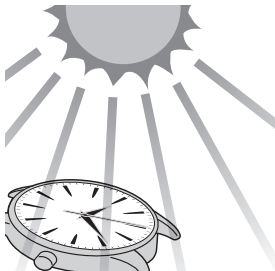
この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。

時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、こまめに充電してください。

図のように文字板が光に当たるように置いて充電すると、比較的効率よく充電する事ができます。

時計を快適にお使いいただくために、次のことを行ってください。

- ・この時計は、衛星電波の受信に多くの電力を消費するため、大容量の電池を内蔵しています。そのため、十分に充電されるまで時間がかかります。



- ・半月に一度は長時間直射日光に当てて、5～6時間充電してください。
 - ・光の当たらない場所での長期保管は避けてください。
- ・衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
 - ・故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。
 - ・周囲の温度が約 0℃以下または約 40℃以上では、「充電禁止温度検出機能」が働き、充電できません。

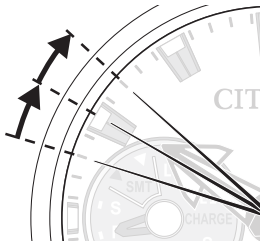
◆ 充電不足になると（充電警告機能）

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が 2 秒毎に動きます（2 秒運針）。文字板を光に当てて充電してください。

- ・しばらく充電すると、秒針が 1 秒毎に動くようになります。
- ・2 秒運針が 10 日以上続くと、充電不足で時計が停止します。

2 秒運針している場合でも、時刻・日は表示されます。

2 秒運針中は、時刻・カレンダーの手動修正はできますが、それ以外の操作と、衛星電波の受信はできません。



◆ 環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間（約）		
		通常に動く状態を 1日保つ	時計が停止して から通常に 動き出すまで	時計が停止して から充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	9 分	15 時間	150 時間
屋外（曇天）	10,000	25 分	45 時間	340 時間
30W 蛍光灯 の 20cm 下	3,000	1.5 時間	150 時間	—
屋内照明	500	8 時間	—	—

- ・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
- ・充電完了後は、それ以上充電されないように「過充電防止機能」が働きます。充電をしすぎて時計の性能や二次電池に影響を及ぼすことはありません。

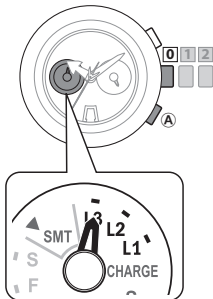
注意：この時計には特殊な二次電池を使用しています。

- ・周囲の温度が約 0℃以下、または約 40℃以上になると、「充電禁止温度検出機能」が働き、充電できません。
- ・時計が停止してから 60 日以上充電しないでいると、「過放電検出機能」が働き、充電ができなくなります。直射日光で一日以上充電しても時計が動かないときは、二次電池の交換をご依頼ください。

充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで：
約 2 年（衛星電波受信を 2 日に 1 回程度行った場合）
充電警告（→ 14 ページ）が始まってから時計が停止するまで：
10 日

◆ 充電量を確認する

現在の充電量を確認します。



1. リ्यूズの位置を0にする

2. ①ボタンを押す

機能表示が充電量を示します。


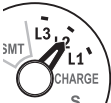


・充電量表示の見かたについては、次ページをご覧ください。

3. ①ボタンを押して、確認を終了する

・何の操作もしないまま約 10 秒たつと自動的に通常時刻表示に戻ります。

充電について

充電量表示の見かた

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
各レベルのおよその継続時間	約 730 ~ 365 日	約 365 ~ 16 日	約 16 ~ 10 日	約 10 日
	十分充電されています。安心してお使いいただけるレベルです。	充電状態は良好です。安心してお使いいただけるレベルです。	やや充電量が不足しています。	充電不足です。充電警告をお知らせするレベルです。
すぐに充電が必要です。				

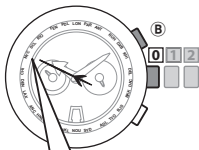
- ・充電量のレベルが CHARGE のときには、秒針が充電警告（2 秒運針）となり、時刻・カレンダーの手動修正はできますが、それ以外の操作と、衛星電波の受信はできません。
- ・時計の温度が高すぎる場合や低すぎる場合、あるいは光量不足により充電がされていない状態のときは、機能表示が時計回りに 1 回転して曜表示になります。この表示のときは非充電（充電できていない）状態ですので、適度な温度の明るい場所で充電してください。



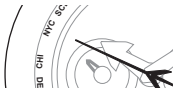
ワールドタイムの使いかた

◆ ワールドタイムを確認する

ワールドタイム（都市）設定を確認します。



ニューヨーク（49 秒位置）
に設定しているとき



1. リ्यूズの位置を[0]にする

2. [B]ボタンを押す

秒針が現在設定されている都市を指します。

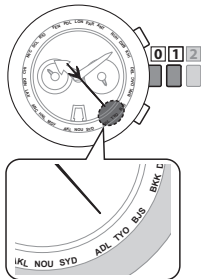
3. [B]ボタンを押して確認を終了する

・ 何の操作もしないまま約 10 秒たつと自動的に通常時刻表示にもどります。

◆ ワールドタイムを設定する

世界 26 都市の時刻を自由に選んで表示させることができます。

- ・一覧表にない地域で時計を使用する場合は、同じ時差の都市を選び設定してください。



1. りゅうずの位置を①にする

秒針が現在の都市設定、機能表示がサマータイム ON/OFF 設定を示します。

- ・サマータイム設定について → 25 ページ

2. りゅうずを回し、都市を選ぶ

- ・選択できる都市は、22 ～ 24 ページをご覧ください。
- ・都市を変更するごとに、その都市の時刻・日に切り替わります。

3. りゅうずの位置を②にして設定を終了する

◆ 都市名一覧

略称	都市名または秒針の指す位置			時差帯
LON	ロンドン	LONDON	0 秒	0
PAR	パリ	PARIS	2 秒	+1
ATH	アテネ	ATHENS	4 秒	+2
RUH	リヤド	RIYADH	7 秒	+3
DXB	ドバイ	DUBAI	9 秒	+4
KHI	カラチ	KARACHI	11 秒	+5
DEL	デリー	DELHI	14 秒	+5.5
DAC	ダッカ	DHAKA	16 秒	+6
BKK	バンコク	BANGKOK	18 秒	+7
BJS/HKG	北京／香港	BEIJING/HONGKONG	21 秒	+8
TYO	東京	TOKYO	23 秒	+9

ワールドタイムの使いかた

略称	都市名または秒針の指す位置			時差帯
ADL	アデレード	ADELAIDE	25 秒	+9.5
SYD	シドニー	SYDNEY	28 秒	+10
NOU	ヌーメア	NOUMEA	30 秒	+11
AKL	オークランド	AUCKLAND	32 秒	+12
MDY	ミッドウェー諸島	MIDWAY ISLANDS	35 秒	- 11
HNL	ホノルル	HONOLULU	37 秒	- 10
ANC	アンカレジ	ANCHORAGE	39 秒	- 9
LAX	ロサンゼルス	LOS ANGELES	42 秒	- 8
DEN	デンバー	DENVER	44 秒	- 7
CHI	シカゴ	CHICAGO	46 秒	- 6
NYC	ニューヨーク	NEW YORK	49 秒	- 5

ワールドタイムの使いかた

略称	都市名または秒針の指す位置			時差帯
SCL	サンティアゴ	SANTIAGO	51 秒	－ 4
RIO	リオデジャネイロ	RIO DE JANEIRO	53 秒	－ 3
FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	FERNANDO DE NORONHA	56 秒	－ 2
PDL	アゾレス諸島	AZORES	58 秒	－ 1

- ・ 時計に表記されている都市名はモデルによって異なる場合があります。
- ・ 一覧表の時差は UTC（協定世界時）からの時差です。
- ・ 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

サマータイムと標準時刻を切り替える

◆ サマータイムについて

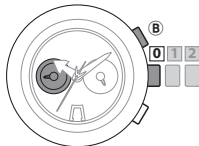
サマータイムとは、夏の時期に時刻を標準時刻よりも +1 時間進めて、日中の時間を有効活用するための制度で、欧米を中心に導入されています。

この時計は、ワールドタイムの都市ごとにサマータイム／標準時刻の表示を切り替えることができます。

・サマータイム情報は、衛星電波に含まれません。サマータイム実施期間の前後では、サマータイムと標準時刻を手動で切り替えてください。

- ・サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ・サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。

◆ サマータイム設定を確認する



サマータイムと標準時刻のどちらが表示されているかを確認します。

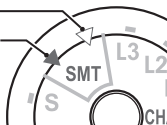
1. リ्यूズの位置を0にする

2. Bボタンを押す

機能表示がサマータイムON／OFF設定を示します。

OFF：標準時刻を表示

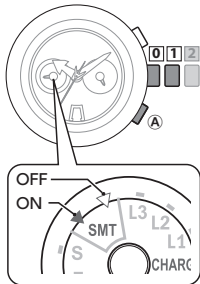
ON：サマータイムを表示



3. Bボタンを押して確認を終了する

- ・ 何の操作もしないまま約 10 秒たつと自動的に通常時刻表示に戻ります。

◆ サマータイム設定を変更する



1. リ्यूズの位置を①にする
2. ①ボタンを押してサマータイム ON / OFF を切り替える

サマータイムを表示するには

「ON」を選びます。

時針が1時間進みます。

標準時刻を表示するには

「OFF」を選びます。

時針が1時間戻ります。

3. リ्यूズの位置を①にして設定を終了する

衛星電波を受信する前に

この時計は、衛星から送信される時刻情報を受信します。

この時計は、時刻情報のみを受信します。位置情報は取得しません。

◆ 衛星電波の受信方法について

この時計は、次の3つの方法で衛星電波を受信します。また、前回の受信結果(受信の成否)を確認することができます。(→ 35 ページ)

受信の種類	使いかた	受信にかかる時間
手動受信 1	普段の受信 (→ 35 ページ)	4 秒～ 20 秒程※
手動受信 2	・うるう秒が更新されたとき ・時計をオールリセットしたあと (→ 38 ページ)	21 秒～ 13 分程
環境受信	自動で受信します。(→ 42 ページ)	

・これらの受信は、りゅうずの位置が0のときのみ行われます。

※オールリセットや手動でカレンダー修正を行った後などは、受信が完了するまでに最大 70 秒かかる場合があります。

◆ 衛星電波受信時の注意

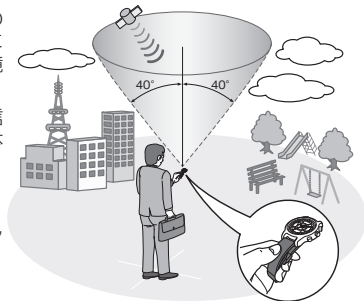
自動車等、乗り物の運転中の受信操作は大変危険ですので、おやめください。

- ・ 秒針が 2 秒ごとに動いているとき（充電警告中）は、衛星電波を受信できません。受信の前に十分に充電を行ってください。
 - ・ 衛星電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなズレが生じることがあります。
- ・ 衛星電波が受信できない場合でも、時計は月差± 15 秒以内の精度で動き続けます。
 - ・ 本製品の電波受信による時刻自動修正は、2100 年 2 月 28 日まで対応しています。

◆ 衛星電波を受信するときは

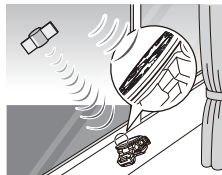
建物や木々など衛星電波を遮るものが少ない屋外で、文字板を空に向けて受信操作を行ってください。

- 図のように、時計の真上の空が大きく（右図のように 40° 程度）開いている環境での受信が理想的です。
- 時計を腕につけたまま受信するときは、できるだけ体から離してください。
- 受信しにくい場合は…
 - 時計を腕から外して受信してみてください。



・屋内窓際から受信をする場合

- ・斜め上方（およそ 45 度）に文字板を向け、広く空が見える窓際から受信を行なってください。
- ・窓の上方に、建物構造物、木々など障害物がある場合、衛星電波を受信できない事があります。
- ・受信しやすい窓方向が限定される事があります。受信しやすい窓方向を確認してください。
- ・網入りガラス・熱線反射ガラス（またはフィルム）の場合、衛星電波を受信できない事があります。
- ・受信しにくい場合は、屋外での受信をお勧めします。



自動車等、乗り物の運転中の受信操作は大変危険ですので、おやめください。

◆ 受信が困難な場所

次のような場所や環境では、衛星電波を受信できないことがあります。

時計の上方に障害物がある場所

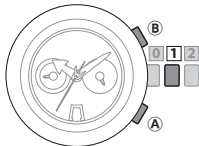
- ・ 屋内や地下
- ・ 高層ビルや木々などの近く
- ・ 曇天・雨天・雷雨のとき
など

磁気やノイズを発生する機器の近く

- ・ 高圧線（電線）、鉄道の線路・架線、飛行場、通信施設の近く
- ・ 電化製品や OA 機器の近く
- ・ 通話・通信中の携帯電話の近く
- ・ 携帯電話基地局の近く
など

受信 OFF について

航空機内など電波の使用を禁止された区域で、電波受信を OFF にすることができます。



1. リ्यूずの位置を**1**にする
2. **B** ボタンを 2 秒以上押す
秒針が電波受信 (ON/OFF) を指します。
3. **A** ボタンを押して電波受信 (ON/OFF) を切り替える

電波受信 ON	電波受信 OFF

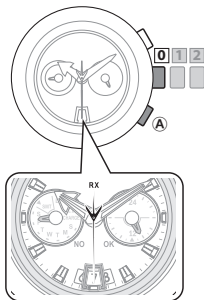
・お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。

4. リ्यूずの位置を**0**にして終了する

衛星からの電波を受信する

◆ 手動受信 1

普段の受信にお使いください。





1. リ्यूずの位置を0にする

2. ①ボタンを2秒以上押す

秒針の尾が前回の受信結果（OK/NO）を指した後、「RX」を指し、受信を始めます。

・受信が終了するまでに、4秒～20秒程度かかります。（オールリセットや手動でカレンダー修正を行った後などは、受信が終了するまでに最大70秒かかる場合があります。）

受信が終了すると、受信結果を 2 秒間表示したあと、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合	受信に失敗した場合
<p>受信結果 (OK)</p>  <p>修正された時刻を表示します。</p>	<p>受信結果 (NO)</p>  <p>時刻は修正されず、受信操作を行う前の時刻表示に戻ります。</p>

- ・ お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。
- ・ 受信中表示 (RX) と受信結果は秒針の針先で行う場合があります。

受信を中断したい場合

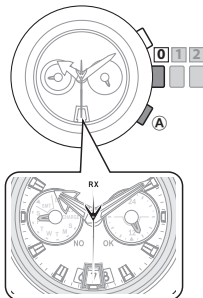
① ボタンを 2 秒以上押す

受信を中断して、現在の時刻に戻ります。

- ・ 受信しても時刻が合っていないときは、うるう秒が更新されている可能性があります。手動受信 2 を行ってください。(→ 38 ページ)
- ・ 衛星電波には、サマータイム情報は含まれません。サマータイムと標準時刻は、手動で切り替えてください。(→ 27 ページ)

◆ 手動受信 2

うるう秒が更新されたときや、時計をオールリセットしたあとにお使いください。



1. リ्यूずの位置を0にする

2. Aボタンを7秒以上押す

- ・秒針の尾が前回の受信結果（OK/NO）を指した後、「RX」を指します。秒針がもう一周して「RX」を指すまで押し続けてください。
- ・受信が終了するまでに、21 秒～ 13 分程度かかります。
- ・お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。
- ・受信中表示（RX）と受信結果は秒針の針先で行う場合があります。

衛星からの電波を受信する

受信が終了すると、受信結果を 2 秒間表示したあと、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合	受信に失敗した場合
<p>受信結果 (OK)</p>	<p>受信結果 (NO)</p>

・お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。

受信を中断したい場合

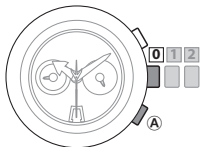
① ボタンを 2 秒以上押す

受信を中断して、現在の時刻に戻ります。

衛星電波には、サマータイム情報は含まれません。サマータイムと標準時刻は、手動で切り替えてください。(→ 27 ページ)

◆ 衛星電波の受信結果を確認する

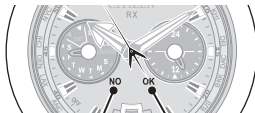
前回の衛星電波受信（手動受信 1/ 手動受信 2/ 環境受信）の結果を確認することができます。



1. リ्यूズの位置を0にする

2. ④ボタンを押す

秒針の尾が前回の受信結果を指します。



NO :

受信に失敗しました

OK :

受信に成功しました

・お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。

- ・ 前回の受信に成功していても、受信から 48 時間以上経過していると「NO」を指します。
- ・ 電波受信をOFFに設定している場合、秒針の先端が「OFF」を指します。
(→ 34 ページ)

3. ④ボタンを押して、確認を終了する

- ・ 何の操作もしないまま約 10 秒たつと自動的に通常時刻表示に戻ります。

◆ 環境受信について

この時計は、衛星電波をしばらく受信していないと、時計が自動で受信を始める機能を備えています（環境受信）。

次の5つの条件がすべて満たされると、時計が自動で受信を始めます。

- ・十分に充電されていて、時計が通常の動作をしている
- ・電波受信が ON になっている
- ・時計が午前 6 時～午後 6 時の間の時刻を表示している
- ・72 時間以上、衛星電波を受信していない
- ・屋外にいるなど、文字板に日光が連続して当たっている

環境受信では、手動受信に比べて姿勢や周囲の環境の影響を受けやすいため、受信の成功率がきわめて低くなります。衛星電波受信での時刻合わせは、「衛星電波を受信するときは」（→ 31 ページ）をご覧ください、手動受信を行うことをおすすめします。

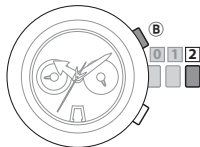
うるう秒を確認・修正する

この時計は、衛星から受信した国際原子時に準じた時刻情報にうるう秒と時差（手動）の設定をすることで、時刻情報を表示しています。

- ・うるう秒は、製品出荷時の情報を設定しています。2013年1月現在のうるう秒設定は「- 35 秒」です。
- ・手動受信 2（→ 38 ページ）でうるう秒情報を受信すると、うるう秒が自動で修正されます。
- ・うるう秒は、手動で修正することもできます。

うるう秒の一覧表は、下記の情報通信研究機構・日本標準時プロジェクトのホームページでご覧いただけます。

<http://jjy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>



1. リ्यूズの位置を[2]にする

2. ⑧ボタンを押す

秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒数を表示します。



「0分35秒」を指しているとき：うるう秒は「-35秒」です。



「1分05秒」を指しているとき：うるう秒は「-65秒」です。

3. リ्यूズを回してうるう秒を修正する

- ・修正できる範囲は、0 秒から－ 90 秒です。

4. リ्यूズの位置を0にして終了する

うるう秒は、製品出荷時の情報を設定しています。2013 年 1 月現在のうるう秒設定は「－ 35 秒」です。

ロールオーバー数を確認・修正する

この時計には、衛星から送信される週の情報 * を正しく処理するために、期間ごとにロールオーバー数が設定されていて、自動で更新されます。

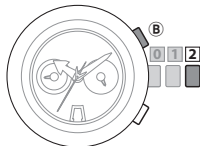
ロールオーバー数の設定が正しくないと、時刻・カレンダーが正しく表示されない場合があります。

次ページの表をご覧ください。ロールオーバー数の設定を確認し、正しくない場合は修正してください。

* 「週番号」といいます。週を 0 ～ 1023 までの番号 (約 20 年) で表します。

期間（協定世界時、GMT）	ロールオーバー数
1999年8月22日（日）00:00 ~ 2019年4月6日（土）23:59	0
2019年4月7日（日）00:00 ~ 2038年11月20日（土）23:59	1
2038年11月21日（日）00:00 ~ 2058年7月6日（土）23:59	2
2058年7月7日（日）00:00 ~ 2078年2月19日（土）23:59	3
2078年2月20日（日）00:00 ~ 2097年10月5日（土）23:59	4
2097年10月6日（日）00:00 ~ 2117年5月22日（土）23:59	5

ロールオーバー数を確認・修正する



1. リ्यूズの位置を**2**にする

2. **③**ボタンを 1 度押す

秒針と分針が現在のうるう秒を示します。

3. **③**ボタンを 5 秒以上押す

秒針が現在のロールオーバー数を示します。



例： ロールオーバー数が「0」のとき

・正しい場合： 手順 5 へ進みます。

・修正する場合： 手順 4 へ進みます。

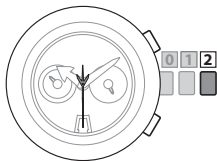
4. リ्यूーズを回してロールオーバー数を修正する

- ・修正できる範囲は、「0」から「5」です。47 ページの表をご覧ください、正しいロールオーバー数に設定してください。

5. リ्यूーズの位置を0にして終了する

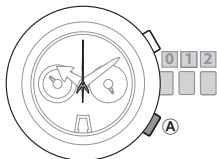
時刻 / カレンダーを手動で合わせる

電波が受信できないときなど、時刻 / カレンダーを手動で合わせます。



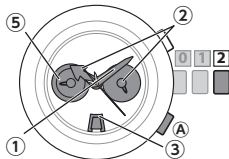
1. リ्यूズの位置を②にする

秒針が 30 秒位置に移動します。



2. ①ボタンを押す

秒針が 0 秒位置に移動し、時刻 / カレンダー合わせができるようになります。



3. ④ボタンを押して、修正する対象を選ぶ

④ボタンを押すごとに、次のように切り替わり、修正対象の針が少し動きます。

- ①時刻 (分) → ②時刻 (時 / 24 時間) →
③日 → ④年月 → ⑤曜 → (始めに戻る)

①時刻 (分)

②時刻 (時 / 24 時間)



24時間針
時針が動き、
連動して24
時間針が動
きます。

③日



日表示が切り替わり連
動して機能表示(曜)が
動きます。

④年月

⑤曜



機能表示が曜日を示します。

4. リ्यूーズを回して、各設定を合わせる

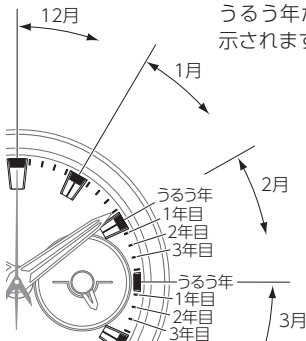
- ・リ्यूーズを素早く回転させると、時刻と日は連続して回転します。リ्यूーズを少し回すと止まります。
- ・日は少し回すと1日単位で切り替わります。
- ・年と月は、秒針で表示されます。次のページの図を参考に合わせます。

5. 手順3と4をくり返す

6. 時報に合わせて、リ्यूーズの位置を0にして設定を終了する

秒針が0秒位置から動き出し、時刻 / カレンダー表示に戻ります。

◆ 年と月の表示について



うるう年からの経過年と月が、秒針の位置で表示されます。

【月の見かた】

12月 : 12 時と 1 時の間

1 月 : 1 時と 2 時の間

2 月 : 2 時と 3 時の間

【年の見かた】

うるう年:

各月の範囲の最初の目盛り

うるう年から 1 年目:

各月の範囲の 1 目盛り目

うるう年から 2 年目:

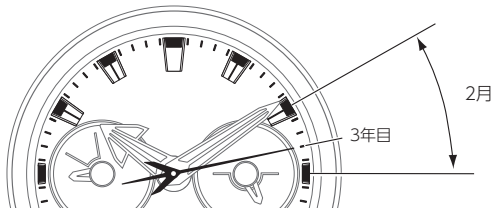
各月の範囲の 2 目盛り目

うるう年から 3 年目:

各月の範囲の 3 目盛り目

下の表を例に、うるう年からの経過年から、実際の年を読み取ることができます。

秒針の位置	経過	年
月の表示範囲の最初の目盛り	0 年（うるう年）	2016、2020、2024
1 目盛り目	1 年	2017、2021、2025
2 目盛り目	2 年	2014、2018、2022
3 目盛り目	3 年	2015、2019、2023

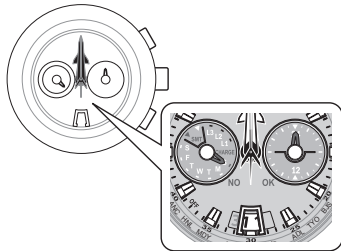


上図は、うるう年から3年目の2月を示しています。

基準位置を確認・修正する

◆ 基準位置とは

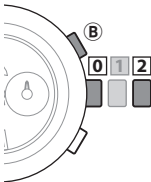
時刻・日を表示するために基準としている、針と日の位置のことです。
基準位置が正しい位置にない場合、時刻や各機能が正しく表示されません。



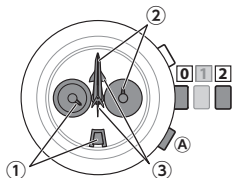
正しい基準位置の図

- ・ 針：時針 0 時
 分針 0 分
 秒針 0 秒
 24 時間針 24 時
 曜 日曜日
- ・ 日：「31」と「1」の間

◆ 基準位置を確認・修正する



1. リ्यूズの位置を0にする
2. Bボタンを7秒間押しつづける
各針と日表示が動き、現在の基準位置が表示されます。
3. 基準位置がずれていない場合は、Bボタンを押して通常時刻表示に戻ります。
基準位置がずれていた場合、以降の手順で修正してください。
4. リ्यूズの位置を2にする
基準位置の修正ができるようになります。

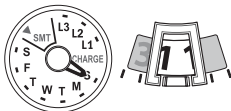


5. ①ボタンを押して、修正する対象を選ぶ

①ボタンを押すごとに、次のように切り替わり、修正対象の針が少し動きます。

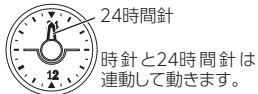
- ①曜（機能表示）／日表示 →
- ②時針／24 時間針 →
- ③秒針／分針 →（始めに戻る）

①曜（機能表示）／日表示



曜（機能表示）と日表示は連動して動きます。

②時針／24 時間針



時針と24時間針は連動して動きます。

③秒針／分針

6. リ्यूずを回して、すべての針を正しい基準位置に修正する

- ・リ्यूずを素早く回転させると、各針が連続して回転します。リ्यूずを少し回すと止まります。


7. リ्यूずの位置を0にして修正を終了する

8. ⑧ボタンを押して通常時刻表示に戻る

困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

衛星電波がうまく受信できない

時計の状態	対処方法	詳細ページ
受信を開始しない、または受信の確認ができない	受信設定を ON にしてください。	34
受信が成功しない	りゅうずの位置を  にしてください。	—
	衛星電波が遮られる場所や、ノイズが発生するものを避けて、時計の文字板を空に向けて受信してください。	31 ~ 33
	時計を腕から外して受信してください。	—
	携帯電話基地局・通信施設などの影響で受信しにくい場合があります。基地局・通信施設から離れた場所に移動してください。	—
	2 秒運針中は受信できません。先に、充電を行う必要があります。	12 ~ 16

時計の状態	対処方法	詳細ページ
受信が成功しない (つづき)	環境受信は受信条件が整いにくいいため、手動受信を行ってください。	35 ~ 37
	上記でも解決しない場合は、「シチズンお客様時計相談室」にお問い合わせください。	85
受信はできるが正しい時刻・日が表示されない	ワールドタイム設定を確認・修正してください。	20 ~ 24
	手動受信 1 で時刻が正しくない場合は、手動受信 2 を行ってください。	38 ~ 39
	基準位置を確認・修正してください。	56 ~ 59
	サマータイム・標準時刻の表示を確認・変更してください。	25 ~ 27
	うるう秒とロールオーバー数を確認・修正してください。	43 ~ 45、 46 ~ 49

困ったときは

針の動きがおかしい

時計の状態	対処方法	詳細ページ
秒針が 2 秒毎に動く	充電してください。	12 ~ 16
全ての針が停止している	りゅうずの位置を④にしてください。	—
	直射日光で、秒針が 1 秒ごとに動くまで充電してください。	12 ~ 16

時刻・日がおかしい

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時刻や日が正しくない	ワールドタイム設定を確認してください。	20 ~ 24
	サマータイムの設定を変更してください。	25 ~ 27
	基準位置を確認・修正してください。	56 ~ 59
	衛星電波を手動で受信して、時刻・日を合わせてください。	35 ~ 37
	手動で時刻・日を合わせてください。	50 ~ 55
ワールドタイム設定が正しく、衛星電波受信に成功しているのに、時刻がずれている	サマータイム・標準時刻の表示を確認・変更してください。	25 ~ 27
	基準位置を確認・修正してください。	56 ~ 59

困ったときは

その他

時計の状態	対処方法	詳細ページ
充電しても、動かない	周囲の温度が約 0℃以下または約 40℃以上 の場合は、「充電禁止温度検出機能」が働き、 充電できません。	—
	「過放電検出機能」が働くと、充電できま せん。時計が停止しているとき、直射日光で 一日以上充電しても時計が動かない場合は、 二次電池が過放電状態になっている可能性 があります。弊社修理窓口へお送りください。	16、84
充電しても、すぐに止まる	直射日光で 2 ～ 3 日間充電します。停止し ていた針が 2 秒運針を始めたら、正しく充 電されています。続けて充電を行い、秒針 が 1 秒ごとに動いてからも十分に充電して ください。 変化がないときは、お買い上げ店または弊 社お問い合わせ窓口へご相談ください。	12 ～ 16、 84

◆ オールリセットについて

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

オールリセットを行う前にご確認ください

オールリセットのあとは、すべての設定をやり直す必要があります。次の順序にしたがって設定を行ってください。

1. 基準位置を修正する 57 ページをご覧ください。

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。58 ページの手順 5 以降をご覧ください、正しい基準位置に合わせてください。

2. ワールドタイムを設定する 21 ページをご覧ください。

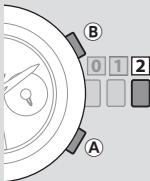
・サマータイムを設定するときは、27 ページをご覧ください。

3. 時刻／カレンダーを合わせる

衛星電波を受信して合わせるときは 35 ページを、手動で合わせるときは 50 ページをご覧ください。

◆ オールリセットを行う

前ページの内容をご確認いただいた上で行ってください。



1. リ्यूズの位置を②にする
2. ①ボタンと②ボタンを同時に 3 秒以上押す
秒針が 0 秒の位置まで動き、その他の針と日がわずかに動いてオールリセットされます。オールリセットのあと、各設定は以下のようにリセットされます。

オールリセット後の設定

- ・カレンダー : うるう年 1 月
- ・ワールドタイム設定 : LON (ロンドン)
- ・サマータイム設定 : 全ての都市で OFF
(うるう秒とロールオーバー数の設定は、オールリセットしても変更されません。)

エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

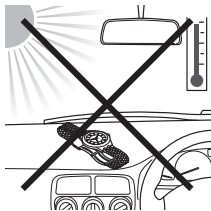
- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例)

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
- ※ 白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温または低温になりやすい場所での充電
- また、周囲の温度が約0℃以下または約40℃以上では、「充電禁止温度検出機能」が働き、充電できません。



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について






警告 防水性能について

- ・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。
(1bar は約 1 気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計 (3 気圧防水) は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10 気圧防水、20 気圧防水

防水性能について

- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキndaイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例					
					水滴がついた状態でのリリューズやボタンの操作。
水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキndaイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。		
×	×	×	×	×	×
○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	×	×
○	○	○	×	×	×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- ・ 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・ 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・ サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- ・ りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・ 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・ 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- ・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- ・皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

お取り扱いにあたって

- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けてください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ・ ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。
金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・ 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・ 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・ 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- ・ 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- ・ 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

その他の情報

◆ 衛星電波について

うるう秒について詳しくは、情報通信研究機構・日本標準時プロジェクトのホームページ (<http://jjy.nict.go.jp/>) をご覧ください。

衛星電波時計は、人体や医療機器には一切影響がありません。

◆ 時計に磁気や衝撃が加わっても（パーフェックス）

3つの機能を一体化させることによって、衝撃や磁気などの外部要因による針ずれを防止します。

JIS1 種耐磁性能

日常生活で磁界を発生する機器に 5cm まで近づけても、時計の機能を維持します。

衝撃検知機能

時計が衝撃を受けたときに秒針と分針のずれを防ぐ機能です。

針補正機能（針の基準位置自動補正機能）

一定時間毎に針の位置をチェックし、ずれがあったときは自動的に補正し、正しい時刻を保持します。

Perfex
パーフェックス

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

<定期点検（有償）について>

- 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

- 分解掃除（内装修理）について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	H90*	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差± 15 秒 常温 (+ 5℃～+ 35℃) 携帯時		
作動温度範囲	－ 10℃～+ 60℃		
充電可能温度	0℃～ +40℃		
表示機能	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻：時 / 分 / 秒 / 24 時間 ・カレンダー：日 / 曜 ・充電量：4 段階 		
持続時間	<ul style="list-style-type: none"> ・充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで：約 2 年（衛星電波受信を 2 日に 1 回程度行った場合） ・充電警告が始まってから時計が停止するまで：約 10 日 		
使用電池	二次電池（ボタン型リチウム電池） 1 個		

付加機能

- ・ 光発電機能
- ・ 充電量表示機能
- ・ 充電禁止温度検出機能
- ・ 過充電防止機能
- ・ 過放電検出機能
- ・ 充電警告機能（2 秒運針）
- ・ 衛星電波受信機能（手動受信 1 / 手動受信 2 / 環境受信）
- ・ 受信中表示機能（RX）
- ・ 受信結果表示機能（OK または NO）
- ・ サマータイム設定機能（ON または OFF）
- ・ 都市設定機能（26 都市）
- ・ パーペチュアルカレンダー（2100 年 2 月 28 日まで）
- ・ Perfex（パーフェックス）—JIS1 種耐磁性能／衝撃検知機能／針自動補正機能
- ・ 非充電状態表示機能
- ・ 受信 OFF 機能

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

<http://citizen.jp/>